

# さざなみ 30

VOL.  
30



## 特集

### NICU・GCUが新しくなりました

〈2019.10月～2020.1月の活動報告〉

新しい家族のはじまりをチームで支えています

〈地域連携だより〉

〈看護師レポート〉

## 「特集」

# 『NICU・GCUが新しくなりました』

当院は2008年に小児科病棟の一部を改築しNICU (Neonatal Intensive Care Unit: 新生児集中治療室)・GCU (Growth Care Unit: 新生児治療回復室) を設けました。それから10年余り経過し、地域の周産期・新生児治療体制も変化し入院される新生児も増加してきました。それに対応するため、昨年NICU・GCUの改築工事を実施し今年1月から運用を開始しています。

より充実し新しくなった新生児の入院環境について、新生児科の山本部長に話を聞きました。

### 湖東・湖北の新生児医療について

滋賀県の新生児医療は大津・湖西、湖南・甲賀、東近江、湖東・湖北の4つの圏域に分けられ提供されています。滋賀県全体では、毎年約12,000人の新生児が出生し、そのうち湖東・湖北圏域では約2,500人が出生します。

当院は地域周産期母子医療センターとして、早産児（在胎22週から36週までに出生した児）や、低出生体重児（出生時の体重が2,500g未満の児）、先天性疾患、重症新生児仮死、出生後に生ずる呼吸障害など、あらゆる病的新生児の治療体制を整えています。

### ファミリーセンタードケア

新生児医療は、重症新生児の治療を行うのと同時に、新しい命を新しい家族として迎えてもらえるようにお手伝いするという側面もあります。

近年、ファミリーセンタードケアの概念を取り入れているNICUが多くなってきています。

「家族（ファミリー）」が「中心となって（セントラード）」「医療を受ける（ケア）」、まさに医療の中心に家族の存在が感じられる新生児医療の試みです。従来のNICUでは、集中治療を安全かつスムーズに行うことが優先されるため、母子分離が基本で、家族は医療者の治療やケア方針に従うのみでした。しかし、ファミリーセンタードケアは、赤ちゃんの家族が積極的に治療やケア方針の意思決定に参加し、さらに赤ちゃんへの付き添いや日常的な世話にも関わることができます。必然的に、家族がNICUで過ごす時間は長くなります。従来の「集中治療室っぽい」NICUでは何となく落ち着かないでしょう。そのため今回の増改築では、NICU全体に間接照明を多用し、壁紙も温かい雰囲気をもつ暖色系でまとめました。



またNICU内に個室を2床用意しました。お父さん、お母さんがくつろげるようなスペースを確保し、ご希望に応じてリラックスできるソファーもご用意することができます。このようなコンセプトのNICU個室の導入は県内では初の試みです。

### システムを活用した新生児の集中管理

1ベッドにつき1つの生体モニターが常設されており、これをスタッフステーションで集中管理することができるようになりました。そのため広くなったNICUでも各児の生体情報を把握しやすくなっています。将来的にはNICU部門システムを導入することによりスタッフの業務軽減も期待できます。また電子カルテ入力端末も1ベッドに1つ装備されており、NICUで問題となりがちな水平感染の予防にも役立っています。



### 24時間365日、新生児を見守るために

大きくスペースを確保したものの一つとしてスタッフステーションが挙げられます。看護師の控え室を広くし、以前は存在しなかった医師控え室や医師当直室を作りました。現在はNICU専属当直はおらず、救急救命センター当直と兼ねておますが、NICU専属当直の配置ができるように準備をしております。

今回のNICU増改築では従来と比べてスペースが格段に広がり、現時点で考え得る、赤ちゃん、ご家族、スタッフ、それぞれにとって最大の幸福が得られるNICUが出来上がったのではないかと自負しております。今後も引き続き、湖東・湖北の新生児にとって安全で安心な医療を提供して参りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

新生児科部長  
**山本正仁**

日本小児科学会専門医・指導医  
日本周産期・新生児医学会  
周産期専門医（新生児）指導医  
臨床遺伝専門医  
日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター



# 活動報告



## 10月 乳がん検診の大切さを伝え、患者さんを支えていく

### ■ピンクリボン湖北2019が開催されました／10月20日（日）

ピンクリボン湖北2019がHotel & Resorts NAGAHAMAで開催されました。ピンクリボン運動は、乳がんの正しい知識を広め、早期発見、早期治療を推進することを目的としています。当日は乳がん検診をはじめ、啓発ライブや啓発ブース、乳がんミニセミナーといった様々な催しが行われました。当院からはがん診療支援室のスタッフが参加し、乳がんに関する資料の配布や書籍展示を行いました。今後もこの啓発イベントが続くことを願うとともに、この活動をきっかけに一人でも多くの方が乳がんに関心を持って下さると幸いです。



## 10月 地域の災害拠点病院として備えを万全にするために

### ■令和元年度 大規模災害訓練を実施／10月27日（日）

病院敷地内において、大規模災害を想定した多数傷病者受入訓練を実施しました。訓練には、職員だけでなく近隣の赤十字である岐阜赤十字病院や湖北地方災害対策本部の中心となる長浜保健所、看護学生など関係機関から約300名が参加。同日に開催された長浜市総合防災訓練とも連携することで、より実践的な訓練を行うことができました。訓練での課題をもとに有事の際には適切な対応が取れるよう、今後もより良い体制づくりに努めています。



## 11月 お口の中の健康、疎かにしていませんか？

### ■令和元年度 がん講演会を開催／11月2日（土）

がん患者さんとご家族を対象としたがんの講演会を開催しました。第17回目となる今回は、歯科口腔外科 足立医長より「口腔ケアとがん」というテーマで、がん患者さんに対して当院で行っている口腔ケアや、日常のケアでも取り入れていただけるポイントをお話しいたしました。講演後の語り合いの場では、今回のテーマに関する話から日常の何気ない話まで、和やかな雰囲気の中、参加者の皆さんと語りいました。がん講演会は春と秋の年2回開催しており、次回は5月頃を予定しています。



## 11月 市立長浜病院、彦根市立病院、長浜赤十字病院の合同主催

### ■第1回 褥瘡・ストーマ・フットケア研修会を開催／11月3日（日）

3病院の皮膚・排泄ケア認定看護師が中心となって、褥瘡・ストーマ・フットケア研修会を開催しました。第1回目となる今回は、循環器内科 道智副部長より「下肢閉塞性動脈硬化症とフットケアの重要性」についての講義と認定看護師より観察のポイント等について講義後、少人数のブースに分かれて、爪切りやスキンケア、ドプラー血流計を使用した聴診、ABI測定、SPP測定などについて実技実習も行いました。今後も3病院合同で褥瘡やストーマについても研修を行っていく予定です。是非ご参加ください。



## 12月 新生児の療養環境がより充実したものに生まれ変わりました

### ■NICUとGCUの改修工事が完了、竣工式を実施／12月23日（月）

昨年5月から改修工事を行っていた本館7階のNICU（新生児特定集中治療室）とGCU（新生児治療回復室）の改修工事が完了、滋賀医大、滋賀県、長浜米原両市より来賓をお招きし、竣工式を行いました。新しいNICUでは個室を設けることで、ご家族がゆっくりと面会が行える新生児にも家族にも優しいゾーンに生まれ変わりました。今後も湖北地域の周産期母子医療センターとして役目を果たして参ります。



## 1月 金澤社会課長がサモア独立国での医療支援活動から帰国しました

### ■国際緊急援助隊・感染症対策チーム サモア独立国活動報告／1月29日（水）

昨年12月、南太平洋にあるサモア独立国での麻しん（はしか）感染拡大に対する医療支援として、社会課 金澤課長が日本政府の派遣した国際緊急援助隊感染症対策チームの一員としてサモアにある病院や保健支援センターで活動して参りました。現地では、主に麻しん患者の外来診療とケアや、重症肺炎・多重事故外傷といった救急対応の症例にもあたり、約200名の傷病者ケアを行いました。院内の活動報告会では、医療従事者として自身の感染症に対する抗体価の確認を今一度するよう参加者へ呼びかけました。



## 形成外科 専門外来を開設いたしました！

### ○唇顎口蓋裂外来：金曜日（午後） ※紹介予約制



術前

術後

### ○下肢静脈瘤外来：水曜日（午前） ※紹介予約制



下肢静脈瘤は高齢化社会に伴い増加しており、予防的治療も重要な疾患です。当院では、静脈瘤予防法の指導はもとより、治療必要な症例には最新のエコーを用いて血管を評価し、静脈瘤用レーザーを用いた血管内治療を行っています。

紹介患者さん用の予約枠をご用意しております！

※詳細については、当院のホームページよりご覧ください。

長浜赤十字病院 形成専門外来 検索

## 地域医療連携課だより

# 長浜赤十字病院・連携医療機関のご紹介

### ✓ 長浜赤十字病院の役割とかかりつけ医との地域連携

本院は、急性期医療を行うとともに地域医療支援病院として、地域全体で適切かつ高度な医療サービスを提供するために、かかりつけ医・近隣医療機関と連携しています。又、地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や、病院と診療所・薬局、そして介護サービス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行っています。

### ✓ 住民のみなさまへ

よりよい医療の提供をしていくため、かかりつけ医（開業医）からの紹介状（診療情報提供書）を持参してのご来院をお願いします。また、病状が安定してきた患者さまには、紹介元診療所やご自宅近くの医院・クリニックで対応いただいています。

ただし、病状変化があった場合は今後も当院で対応します。急病の際は当院救命救急センターで対応します。

ビスを提供するために、かかりつけ医・近隣医療機関と連携しています。又、地域住民のみなさまに一貫した切れ目のない医療や、病院と診療所・薬局、そして介護サービス事業所や訪問看護ステーションで診療情報の共有を行っています。

持参してのご来院をお願いします。（かかりつけ医）を紹介させていただいている。

応します。



## 江村医院

### 江村院長からのメッセージ

24時間電話対応しております。留守の場合には転送対応しております。時間外・休日・深夜でも可能です。緊急性が有ると判断した場合には、診察させていただいている。



《医 師》 江村 芳文  
《診 療 科》 内科、小児科  
《住 所》 長浜市湖北町山本1178  
《電 話》 0749-79-0007  
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	8:00~12:00	○	○	○	×	○	○
午後	16:00~18:00	○	○	○	×	○	○

※日、祝祭日は休診

## おしたにクリニック

### 押谷院長からのメッセージ

一般内科、糖尿病内科、小児科を中心として2名の医師が診療を行っています。糖尿病内科は水・土に診療しています。訪問診療も行っており、かかりつけ医として地域に根ざした医療を目指しております。



《医 師》 押谷 浩、押谷 奈都子  
《診 療 科》 内科、糖尿病内科、小児科  
《併 設》 通所リハビリテーション  
ケアマネジメント 訪問看護  
《住 所》 長浜市内保町1033  
《電 話》 0749-74-2011  
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:00~18:30	○	○	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

## 佐野クリニック

### 佐野院長からのメッセージ

開業して13年目になります。地域の皆様に少しでもお役に立てるようなクリニック作りを心がけています。通常の診療、往診、予防接種などかかりつけ医として、皆様が安心して相談できる環境であるよう心がけています。



《医 師》 佐野 嘉郎  
《診 療 科》 内科、リハビリテーション科  
《住 所》 長浜市相撲町1475-14  
《電 話》 0749-65-5800  
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後	16:00~19:00	○	○	○	×	○	×

※日、祝祭日は休診

## 澤渡歯科医院

### 澤渡院長からのメッセージ

乳幼児から高齢者まで、健常者から障がい者まで、入れ歯作製から親知らず抜歯などの口腔外科的治療まで幅広く対応しています。



患者さんに十分納得していただける治療を目指しています。

《医 師》 澤渡 新太郎  
《診 療 科》 歯科、口腔外科  
《住 所》 長浜市木之本町黒田833-1  
《電 話》 0749-82-5767  
《往診診療》 有 《訪問診療》 有

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:00~12:30	○	○	○	×	○	○
午後	14:00~18:30	○	○	○	×	○	△

※土曜午後は17:00まで

※日、祝祭日は休診

# 看護師レポート

## 新しい家族のはじまりをチームで支えています

2020年1月からNICUが新しくなりスタートしました！！

NICUとは、Neonatal Intensive Care Unit (ネオネイタル インтенシブ ケア ユニット)の頭文字をとった略語で『新生児特定集中治療室』のことです。早産、低出生体重児や仮死、先天性の病気などで集中治療を必要とする新生児を対象に、高度な専門治療や看護を24時間体制で提供する治療室のことでチーム医療が大切です。

### NICUで大切にしている看護 ≪ディベロップメンタルケア≫

ディベロップメンタルケアとは、外的ストレスをできる限り少なくした環境を作り、赤ちゃんの成長・発達を促していくことです。例えば、子宮内にいた時の姿勢に近づけたポジショニングを行い、赤ちゃんの睡眠・覚醒リズムに合わせて処置やケアを行うことや、音や光環境を整えることです。

NICUは赤ちゃんにとって治療の場と同時に、「成長の場」でもあります。明るい照明、騒音、早い段階での母子分離は、赤ちゃんにとっては大きなストレスです。ストレスは赤ちゃんの成長・発達や体重増加に使われるべきエネルギーを奪い、情緒の安定を妨げます。



新しくなったNICUでは、照度調整や、赤ちゃんが照明直下にならないように間接照明を導入して、できるだけ赤ちゃんに適した療養環境になるように配慮しました。また家族は赤ちゃんの大切なケア提供者であり、家族のケア参加を支援して、赤ちゃんの情緒的ケアを行っています。家族と医療スタッフが協力してチームで赤ちゃんの退院までをサポートしています。

新生児集中ケア  
認定看護師 久保田 雅美



### 家族と一緒に過ごせるNICUをめざして ≪ファミリーセンタードケア≫

「家族（ファミリー）が」 + 「中心となって（センタード）」 + 「医療を受ける（ケア）」 NICUでは、赤ちゃんは両親とのふれあいを重ね、家族と一緒に成長していく場でもあります。今回NICUに個室を設け、気がねなくゆっくり面会が行え、両親が主体的にケア参加でき赤ちゃんと一緒に穏やかに過ごせるように配慮しました。



### 今回の表紙

## NICU・GCUが新しくなりました

当院は地域周産期母子医療センターとして、湖東及び湖北地域の周産期医療に係る中心的な役割を担っています。24時間体制で医師を始めとした医療スタッフが適切な医療・看護を提供することで母親と赤ちゃんの安全を守っています。



### 理念

「人道・博愛」の赤十字精神にのっとり、やさしさのある全人的医療を提供します

### 基本方針

- 常に研修・研鑽に努め安全で高度な医療を提供します
- 個別のニーズ、人権、プライバシーに配慮し、患者さん中心の医療を展開します
- 地域の保健・医療機関との連携を強化します
- 救急医療を充実し、災害救護や国際救援にも積極的に参加します
- 広報活動、住民教育、各種行事への参画などを通じ街づくりに貢献します

### 患者さんの権利宣言

- 人権が尊重され、良質で適切な医療を受ける権利
- 医療上の情報提供・説明を受け、同意したのち医療を受ける権利
- 治療方法などを自らの意志で選択する権利
- プライバシーが保障される権利
- 他の医師などの意見(セカンドオピニオン)を求める権利
- カルテ開示を求める権利



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

長浜赤十字病院

滋賀県長浜市宮前町14番7号

TEL:0749-63-2111(代表) URL:<https://www.nagahama.jrc.or.jp/>